

第22回 アジア・太平洋賞

The 22nd Asian-Pacific Awards

——「パンクルの誕生」は韓国語入門者にも役立ちますね。いつから韓国語を勉強したのですか。

野間氏 東京教育大学（現筑波大）在学中に独学で始めました。79年に防衛しましたが、どうしても専門的に韓国語を学びたって、30歳で東京外国语大学朝鮮語学科に入り直しました。

——出版のきっかけは？

野間氏 ハンクルという文字について韓国語学の分野で脱いだ文章でしたが、文字としての意味を広げ、更に普遍的な視聴から見るよな、一般的読聴人が接しうる物語はなかった。より広く視聴から見ると、ハンクルという文字の眞の面白さが分かるのではないか、と思っていたのです。日本語は假名、片假名、漢字、ローマ字、アラビア数字にローマ数字など多様な文字を用いて、漢字には

訓読みや翻訳、また振り仮名もあるし、書く文化もある。日本語の世界は文字と音韻を考えるには素晴らしい言語です。ハングルは日本語になかったシステムです。ハングルを貢献したのが、李過漢といふ文人で、文字化したばかりの頃の思者が、いかに深じゆくべたどりに着目する、思考が格段に豊かになります。

また、朝鮮半島を「知」という観点から見た時に何があるのか、考えると、李過漢といつた偉人もいるわけですが、やはり「開正音首」これが、ハングルの誕生によって生まれるべき知のドームではないか、と第弐思っていました。その思いが共に有されば、韓国人、知識人の朝鮮半島への見方も随分変わるのでではないか、と思いました。

——文字を創るのは大変な作業だったのですね。

野間氏 日本の平假名、片

人に字が創
ったが、△正
字といふ字は、王
羲之から
考案です。ハ
ヤシル、そ



第22回「アジア・太平洋賞」の大賞を受賞した野間秀樹氏。後ろは朝鮮王朝建国をたたえる叙事歌「童飛御天歌」(1447年)

世宗は△正音▽革命派の領袖
野間氏

東アジアにおける興味深い言語史

宗大王が創始したのだといふことからいへば、それでいて、たゞその文章は、20世紀に現れるまでの文学の発展の世界史的意味、言語学的意味について、これまで十分理解できていなかつた。

本書は、まさにハングル誕生の背景としての東アジア言語世界の特徴を、当時のドミニアントな文字である漢字の特徴の分析、当時の表音文字のある方の分析などはじめ、「訓民正音」によるハングルの創造の言語學的な個別性に就いてのじつじつと述べてゐる。著者は、ハングルが、音素、音韻、形態、語彙など、漢字のない透明白な形で併存するので、繩つながりあるかぎり、読者の好奇心を満たすうに次から次へと論述する。また、もとより現代韓語の機能であつて、ハングルの創造であり、この獨創的構造を、たゞ一ぱい、この獨創的構造を、世紀に亘る、自家言語中の

大賞『ハングルの誕生

音から文字を創る』

アジア・太平洋地域の政治・経済・文化などに関する優れた本を著した研究者、実践者に贈る「第22回アジア・太平洋賞」は選考の結果、大賞1点、特別賞2点が決まった。

今日は日韓併合100年の年だったが、大賞は朝鮮半島で15世紀に人為的に作り出されたハングルが現代言語学から見ても非常に優れたものであることを日本人の研究者が詳細な実証研究の末に明らかにした『ハングルの誕生 音から文字を創る』に決定。また、特別賞の『溥儀の忠臣・工藤忠』と『中国共産党「天皇工作」秘録』は広い意味での日中関係を題材としており、現在の両国間の摩擦をより広い視野で見直すためにも読むべき本といえる。

3冊は昨年7月から今年6月までの1年間に出版された102点の応募作品から選ばれた。

表彰式は15日午後5時から東京都千代田区一ツ橋のパレスサイドビル9階レストラン「アラスカ」で行われる。

大賞 記念の盾と賞金200万円
副賞 ANA国際線航空券(エコノミー、本人限り)

『ハングルの誕生 音から文字を創る』
(平凡社新書)

特別賞 記念の盾と賞金各30万円

『溥儀の忠臣・工藤忠 忘れられた日本人の満洲国』 (朝日新聞出版)

『中国共产党「天皇工作」秘録』(文春新書) 城山勝巳氏 時事通信社記者

選考委員(敬称略)
栗山 尚一 アジア調査会会长(元駐米大使)

渡辺 利夫 拓殖大学学長
田中 明彦 東京大学教授
松本 健一 評論家・作家・慶澤大学教授
岸井 成雄 氷川新報社主筆

主催 每日新聞社、(社)アジア調査会
後援 外務省、文部科学省、経済産業省
協賛 Jパワー(電源開発)、日本生命、三菱商事
協力 ANA
助成 (社)東京俱楽部

シントナマガタック等の形態の音が、
「へ」の音で同じように發音される
ので、へ^トを表す母音も
「へ」の母音からの派生である
といった眞面目ですね。そして
表すその音はどうう、へん
グルは20世紀の音韻学が發展する
したへ言葉等の単位、自
分たちの言語の音素に独自な
たる規範、その音素に形を
与えてくるのですね。ソノ
一ルらかだらかに結論づけ
近づといひまで行っている
——改革には猛烈反対があつ
たのですが、
野間：何かの今まで漢文
漢文で成り立っていたへ知
の世界に變字的なシントナ
を創り出したのですから、正
倒數の士大夫たちが反対
と思ったのも無理があつま
る。第4代の王、世宗が國
たのは朝鮮半島で1000年を
統じてきた漢字漢文の伝統
のものでした。世宗はそれを
なアンシャンレジームを想定

（新・至福の朝鮮語）（朝日出版社）など多数。